

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信
Rotary International District 2690 【2019-20】



2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2019-20年度地区ガバナー
古瀬 俱之

Vol. 4
2019.10.1



Contents

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 2 …… 地区ガバナーメッセージ | 5 …… クラブ雑誌・広報委員長会議報告 |
| 3 …… ポリオの根絶へもう一押し | 第1回諮問委員会 |
| 4 …… インターアクト地区大会報告 | 第1回ガバナー補佐会 |
| | 6 …… 地区だより |
| | 8 …… 出席報告 |

米山月間に 因んで

地区ガバナー 古瀬 俱之



米山記念奨学会は勉学・研究を志して、日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給する民間の奨学団体です。

将来、母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的にしています。

★優秀とは

- ・学業に対する熱意や優秀性
 - ・異文化への興味と理解しようという熱意がある
 - ・コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている
- の3つが含まれます。当地区では以前から、経済支援を最優先することはありませんでした。

★米山奨学会の特徴は単に経済的支援だけではなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による、心の通った支援があることです。

米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣など、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されています。

★米山奨学生の採用数

2019年7月1日現在、日本全国で869人、国別で見ますと中国が最も多くなっています(表1)。これまでに127の国と地域から、累計21,024人を採用しました(表2)。事業費はおおよそ14億円と、国内では民間最大の事業規模、採用学生数で、国際的な奨学団体となっています。

表1 国籍・地域別人数

中 国	339人
ベトナム	135人
韓 国	80人
マレーシア	42人
インドネシア	36人
ネパール	34人
台 湾	29人
モンゴル	23人
スリランカ	19人
そ の 他	132人
合 計	869人

表2 国籍・地域別
学友数累計ランキング

中 国	7,152人
韓 国	4,536人
台 湾	3,505人
ベトナム	1,076人
マレーシア	975人
インドネシア	443人
タ イ	342人
バングラデシュ	338人
ネパール	284人
モンゴル	279人
累 計	21,024人

★米山記念奨学会の理念をよく表わしているシンボルマーク(図1)

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表わしています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、一人ひとりの胸に世界平和を願う「心」を育てるという、事業創設の願いがこめられています。手はそうした「心」を生み出すと同時に、奨学生がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



図1 シンボルマーク

★米山奨学生に関する問題点

例会に出席して奨学金をもらい、帰国する、ないしは、更に海外に留学してその後消息不明になる奨学生が少なくないと思われます。元奨学生の何人と連絡がとれているのか、いないのか、何人が架け橋になっているのか、残念ながらはっきりしたデータが無いのが現状です。母国・現地に米山学友会があれば多少違うかもしれませんが……。

こうしたことを極力避けるには今の選考方法を見直し、本人はもとより推薦者、友人などから奨学生候補の人となりや十分ヒアリングし、本人が奨学生にふさわしいかどうか厳格に審査するシステムに変える必要があるように思います。前述した三つの優秀さを備えた人かどうかをロータリアンだけで決定するのが難しいと判断されたら、第三者を交えた選考委員会にするのも一つの選択肢と考えます。いずれにせよ選抜に要する時間はかかりますが、学業成績だけで選抜するのはよくないことで、早急な対策が望まれます。

★ブサコーンさん(写真1)

出雲中央ロータリークラブが世話クラブとなって支援した米山奨学生です。彼女は高校時代にAFSの交換留学生として松江の高等学校に留学(1年間)し、そのホストファミリー(日本語を厳しく教えていただいた)のすすめで再来日しました。島根大学4回生の時、奨学生になりました。首席で卒業し、卒業後は島根県と母国とを結ぶ「そろばん大使」として活躍しました(3年間)。帰国後は日本の現地企業の社長秘書として、奨学生時代に学んだ職業奉仕、「四つのテスト」を実践しています。また、新たにタイ米山学友会を立ち上げ、初代書記として尽力しました。この間の事は、平成26年、「ロータリーの友」1月号に「ありがとうロータリアン! タイから花束のお返しを!」というタイトルの手記に全て語られています。彼女が手記の最後に記した文章を原文のまま紹介します。



写真1 ブサコーンさん

厳しかったホストファミリーの父は2年前に他界しました。その父に、一度だけ褒めてもらいました。大学の卒業式で総代に選ばれた時、「お父さんは鼻が高いよ」と言って見せた嬉しそうな笑顔を忘れることができません。また、日本の母は「あんたがはじめて島根に来た日、他のホストファミリーは花束を持って留学生を迎えたけど、うちはなんも持っていかなかったのよ」ということをした。それが今でも心残りだよ」とよく言います。日本の母、タイの母、ロータリアン、今までお世話になった全ての人にお伝えしたいです。「もう十分に、私の人生を彩る花をいただきました。花束なんか必要ありません。皆さんが与えてくださった生涯の財産、温かさに対し、できる形で恩返ししていくつもりです。これからも見守ってくださいね。」

素晴らしい米山奨学生でした。そして今は素晴らしい米山学友です。こういう素晴らしい米山奨学生が当地区にいたことを誇りに思います。ぜひ、原文をお読みいただくよう切望します。また、選考過程で、こういう人材を見つける方策を真剣かつ早急に考えなくてはならないと思います。

皆様方のご意見、アドバイスを広く求めます。



ポリオの根絶へもう一押し



ポリオ根絶地域コーディネーター
松本 祐二
(2014-15 地区ガバナー)

2015-16 年度から国際ロータリーの第 3 ゾーンのポリオ撲滅ゾーンコーディネーターを拝命して以来 5 年目になります。前任の延原正(2005-06 年度)バスターガバナーから引き継いだ仕事です。今年度からは日本語訳が「撲滅」から「根絶」に変わりました。英語は eradication のままで変更はありません。このことについてはロータリーの友 7 月号の横組みの 56 ページに三木明 RI 理事の記事が掲載されていますのでご参照ください。

ポリオ根絶に関する国際ロータリーの取り組みはすでに 30 年以上続いており、多くの会員は入った時からポリオに対する活動がロータリーの活動というイメージが強いのではないかと思います。ポリオに対する取り組みは国際ロータリーが主に働きかけ、世界保健機関(WHO)が根絶の計画策定を、UNICEF(ユニセフ・国連児童基金)が実際の予防接種活動を、米国疾病対策センター(CDC)がポリオの流行状況の評価や具体的な対策方法を考え、資金提供や広報活動を国際ロータリーが実施するという枠組みでスタートしたのが 1988 年でした。当初の予定では西暦 2000 年にはこの事業が終了する予定でしたが、実際には困難を極め

今日もまだ根絶に至っておりません。終わりが見えない長引く支援に 2009 年にビル&メリンダ ゲイツ財団が資金提供に参加してくれました。国際ロータリーがポリオ根絶のために集めた寄付金に加えてその額に 2 倍の寄付をするという支援でした。1 年間にロータリーが集めた 5,000 万ドルを上限としてビル&メリンダ ゲイツ財団が 1 億ドルを寄付するというシステムです。このような形の資金提供は今も続いています。

WHO や CDC はロータリーが活動を始めたころから、ポリオの患者が発生したときの連絡システムやワクチンの配送システムの構築を目指していました(薬を冷蔵保存したまま地球上に配送するシステムが出来上がっていない時代に、それらを構築したのが国際ロータリーなどの活躍でした)。現在では患者発生との連絡はスマートフォンに変わり、予防接種の報告も携帯端末から済むようになるなど機器の更新にも私たちの寄付金が使われ、現地で活動するヘルスワーカーたちへの賃金の支払いも配布されたスマートフォンに入金される地域も出ています。このシステムのおかげでポリオだけでなく、様々な対応が要求される伝染病の拡大防止にも大変な貢献をしています。ポリオプラスと呼ばれるプログラムのプラスの部分です。

現在はポリオが流行している国つまり常在国と呼ばれている国はナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの 3 カ国ですが、本年 8 月 21 日までナイジェリアでポリオの発生がなければナイジェリアは 3 年間発生が 0 になりますので常在国の指定が外れます。WHO や CDC などがワクチン接種をしている別団体として独立してその検証をする予定です。

現在も日本を含めた世界中の国でポリオのワクチン接種が続いています。地球上からポリオの野生株での発生が途絶えて 3 年経過して流行が完全に終わったと宣言されるまで世界中の国や地域で予防接種活動は続きます。財政基盤の脆弱な発展途上国には、予防接種に投下できる資金の余裕はありませんのでロータリーを始めとする団体や先進国が巨額の支援を続けています。金額的には各国政府の拠出金額には遠く及びませんが、国際ロータリーは見返りを求めず病気の根絶というプレゼントを提供しようと頑張っているのです。ぜひロータリアンが広報活動や寄付集めの活動に率先して取り組んでいただきたいのです。

ゴールは 2023 年の予定です。

ポリオ根絶に向けて世界が一つに

今年 10 月 24 日、国際ロータリーのフェイスブック(日本語ページを含む全言語)でポリオ根絶の特別プログラムが配信されます。近日中にフェイスブックのイベントページが開設されますので、「参加予定」をクリックしてぜひご参加ください。

皆さんの地元でも世界ポリオデーにちなんだ募金やイベントを行い、ポリオ撲滅をご支援ください。

インターアクト地区大会報告



地区インターアクト委員長
山本 祥二

「育もうENJOYインターアクト! ～思いやりの地・松江の歴史と文化の美しさを見つめて～」を大会テーマに掲げ、第43回インターアクト地区大会が7月20日～21日、松江西高等学校インターアクトクラブをホストインターアクト、松江南ロータリークラブをホストクラブとして、島根県立青少年の家サン・レイクで開催されました。

今回は新たなインターアクトクラブであります倉敷高等学校を加え、地区内18校のインターアクトクラブメンバー91名、顧問教師34名、ロータリアン48名、総勢173名が参加し、体験学習として松江の歴史を学んだり、インターアクターが他校インターアクト活動の共有や交流を深めることを目的として、意見交換や研修が行われました。

開会式では、島根県副知事、松江市教育長をご来賓としてお迎えし、ホスト校である松江西高等学校インターアクトクラブ、コホスト校の開星高等学校、出雲西高等学校、出雲北陵高等学校の生徒さんたちの素晴らしい進行と、開会挨拶では大会委員長である松江西高等学校の田部真啓君より今大会への熱い想いが語られ、参集した

皆さんの心を一つにできたのではないかと思います。

最初のプログラムの記念講演では松江の魅力ー美しい自然と豊かな歴史ーと題し、NPO法人出雲学研究所理事長 藤岡大拙先生により、松江の魅力である宍道湖の夕日を代表とする自然の美しさ、出雲神話を初めとする古代から伝わる沢山の歴史、出雲弁を代表とするこの地方の風土と文化についてご講演を頂きました。

講演の後、バスにて国宝松江城へ移動し、6班に分かれて松江城登城と周辺散策を行いました。まつえ若武者隊、松江武者の皆さんが各班に就かれ、松江城について細部まで説明を頂き、国宝である意義や国宝指定に尽力された人達の熱い想いや、松江城の堅固さと建築技術の高さに、インターアクターの皆さんにも関心を持っていただけたのではないかと思います。

2日目のプログラムの班別会議、体験発表では、どの班も司会の方を中心として、上手く会議を進められていたこと、参加している皆さんがハキハキとした声で受け答えをされていて、見ていて大変清々しい印象を受けました。

体験発表では、6校より素晴らしい活動事例の発表がありました。今後インターアクト活動の参考になる沢山の学びがあったのではないかと思います。

この、2日間の様々な体験がインターアクトの意義でもあります、「青少年が視野を広げ、行動力を身につけ、将来のリーダーとなるためのスキルを学ぶこと」を、この地区大会一つ一つのプログラムを通じて提供できたのではないかと思います。

また、インターアクトはインターアクターにチャンスを与えます。

インターアクトがもたらすチャンスは、大きく4つあります。

- ボランティア活動に参加する。そのことにより地域社会に貢献をし、改善することにつながる。
- 友達をつくることができる。インターアクトを通じ同じ学校や他の学校の友達ができる上、ロータリアンとも知り合いになれる。
- リーダーシップの力を伸ばす機会がある。インターアクトの活動を通じ自分のスキルや能力を伸ばすことができる。人の役に立ちながらリーダーシップの力を伸ばすことができる。
- 楽しく活動に参加する。同じ思い、志を持ったインターアクターが自分たちの活動を一生懸命取り組むことによって、よりよい世界を築くことができます。

この大会を機に、これからも各地でインターアクト活動に熱い思いをもって取り組み、みんなで、このチャンスを掴みに行っていきたいと思います。

ロータリーは、インターアクトの委員会だけでなく、クラブ全員が一丸となり、熱い思いでしっかりとインターアクターを支援してほしいと思います。

最後になりますが、今回の地区大会を大成功に導くために、事前の準備から大変ご苦勞を頂きましたホスト校の松江西高等学校インターアクトクラブの皆様、ホストクラブの松江南ロータリークラブの皆様にご心より感謝と御礼を申し上げ、インターアクト地区大会の報告とさせていただきます。



クラブ雑誌・広報委員長会議報告

地区雑誌・広報委員長 児玉 治

8月4日(日) 13時30分より出雲ロイヤルホテルにおいて、〈2019-20年度クラブ雑誌・広報委員長会議〉を開催しました。古瀬俱之ガバナーより【ロータリーの友】の読み方の工夫や内容が大変勉強になる、ためになる内容であることについてのお話があり、その後、香川県の坂出東ロータリークラブの前田直俊パストガバナーを講師にお迎えし、ご講演をいただきました。演題は『ロータリーの幅広い年代に対する広報とそのコネクションによる人々の参加』というタイトルでした。プロジェクターとスクリーンを使いDVD映像を交え、解りやすくご説明をいただきました。

まずは、「My Rotary」の登録の仕方について丁寧にご説明をいただき、その後ロータリーの公共イメージ向上と他地区での取り組みについてラジオなどの公共の電波を使った事例やアニメーションを使ったコミカルな事例紹介があり、会場の各クラブ委員長様方も真剣な表情で映像を見つめ、全地区を挙げてロータリーの公共イメージ向上に向けた取り組みについて聞いていらっしゃいました。

その後、ロータリーの友地区代表委員より今年度の委員会方針の発表があり、月信出版・地区HP管理運営委員会委員長代理の【地区月信への取り組みおよび地区HPの運用について】の発表があり、現在の運用からさらに積極的なPRの為に使っていく旨の説明があり15時10分に閉会となりました。当日は猛暑の中お越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

第1回 諮問委員会

日時:2019年7月28日(日)12:50~14:00 会場:出雲ロイヤルホテル「菊の間」

【報告事項】

1. 地区ガバナー事務所より報告
 - ① 地区パストガバナー会費について
 - ② 2019-20年度 地区組織図について
 - ③ 地区大会について
 - ④ 地区ガバナー公式訪問について
 - ⑤ 2020-21年度 青少年交換派遣学生募集について
 - ⑥ クラブ米山記念奨学委員長会議について
 - ⑦ クラブ雑誌・広報委員長会議について
 - ⑧ 2020-21年度 ガバナー補佐について
 - ⑨ 第2690地区 地区世界社会奉仕委員会 (DWCS) 運営要項と細則について
 - ⑩ 第2690地区 危機管理委員会規定について
 - ⑪ 2020年ロータリー国際大会について
 - ⑫ 地区行事予定表について
 - ⑬ その他
2. 地区ロータリー財団事務所より報告
3. 地区ガバナーエレクト事務所より報告

2019-20年度 国際ロータリー第2690地区 第1回ガバナー補佐会

日時:2019年8月4日(日)10:30~12:00 会場:出雲ロイヤルホテル「松竹の間」

1. 開 会
2. 配布資料の確認
3. 地区ガバナー挨拶
4. 地区ガバナーエレクト挨拶
5. 地区ガバナーノミニー挨拶
6. 報告事項(岸地区代表幹事より)
 - ①地区大会について
 - ②2020-21年度ガバナー補佐の推薦結果について
 - ③ガバナー公式訪問について
 - ④2020-21年度青少年交換派遣学生募集について
 - ⑤クラブ雑誌・広報委員長会議について
 - ⑥クラブ米山記念奨学委員長会議について
 - ⑦第2690地区危機管理委員会規定について
 - ⑧地区組織図について
 - ⑨地区行事予定表について
7. 次回開催日の確認
8. 閉 会

地区だより(2019年8月)

新会員紹介



ロータリー財団への寄付



年次基金にご寄付をいただいた方々

境港RC 庄司尚史

米子東RC

足立 慶、赤山俊寛、荒川圭三、荒川雄司、福本一字、細田耕治、今出 上、井上賢明、岩岡三男、岩崎 稔、北沢 薫、宮本 守、長棟信泰、西村正男、西村 偉、野津一成、尾沢裕子、塩谷眞司、宇田川俊宏、上森英史、山根文教

出雲南RC

吾郷紘一、浅津和人、福田康平、福代新治、布野浩之、古川精次、儀満秀明、後藤英夫、原田明成、桑 正、林 不動、樋野圭衣子、細田政孝、井上克夫、石田修司、石飛昭文、石飛 真、坂垣 浩、伊藤和之、陰山正広、龜谷 清、金山利行、勝部徑司、勝部祐治、川上泰志、木村竜生、小玉 浩、桑原京之、横野安浩、松本 毅、三島一男、三代和鑑、水谷厚志、持田隆治、森山育子、本常恵三、永田 実、内藤正和、錦織 正、錦織正二、小川 敬、小川哲治、大田 誠、小村尚子、佐藤大樹、佐藤克朗、清水里史、塩野裕士、澄川達夫、須谷生男、須山泰則、曾田和弘、高橋扶治夫、高橋信治、竹田和彦、竹下尚子、竹内一夫、田中 充、東儀君子、土井豆勝磨、打田理成、淋蒔蔵暢、山田朋由、山本 英、山本祥二、山本由香里、山根 茂、山崎耕二、山内瑛明、米原彰男、米山幸男

江津RC

藤田武利、山崎一成、森脇祐之助、永井良三、本藤繁夫、寺下 衛、室谷卓治、森口裕行、青木史郎、砂田 忠、高田圭介、石橋孝義、和原勝博、和木田登、原論、尾前 豊、佐々木啓之、佐多 宗、伊藤誠二、小川泰道、久保田泰介、三上貴子、佐々木一成、岡田久樹、森下幸生、山藤志哲、平下智隆、押越奈津紀、室崎弘勝、増田敏弘、宮津秀行、井上智道、小路 保、井口眞理子、藤田 裕、中川三夫

児島東RC

神馬真一郎、片山彰造、三宅八郎、森澤英治、長尾 実、西山芳男、小河原通弘、萩野順一郎、大江則男、谷本 茂、山本和男、山本真一

倉敷南RC 河本修一

津山RC

秋田健仁、秋山政徳、朝比奈史章、飯綱浩二、池内 徹、石原祐佑、稲葉伸次、井上 治、浮田佐平、浮田芳典、鶴崎 実、江見正暢、奥 信、小原茂揮、梶岡秀成、勝山 敏、川上昌俊、川崎健文、神崎信輔、菅田 茂、劔持成利、河本秀生、近堂申洋、笹井茂樹、佐野芳章、柴田和正、須江英典、全本静弘、高橋寿治、寶多英代、武本哲郎、只友世毅子、田中勝子、土居大介、土井康徳、友末誠夫、豊福晃正、中島壮太、長嶋靖明、中山須美子、永禮恭司、名倉邦秋、額田雅之、長谷川隆嗣、馬場 茂、日笠晴夫、廣田 裕、福岡正城、福田邦夫、本松勇一、真木秀高、牧山政雄、松岡裕司、松田欣也、本山紘司、森 嵩正、森本信一、山田英生、山本隆之、山本俊彦、吉田緒史、吉田誠五、吉田隆宣、龍門慶輝、脇 優太

岡山後楽園RC

赤畠耕一路、赤木 匠、秋定 健、秋山義信、荒木賢治、浅海淳一、土井基之、土井志郎、藤本隆志、藤本洋平、深井豊久、福島正春、蜂谷真規、長谷博明、池上 孝、居森正和、犬養吉晴、板野一郎、川本平山、岸本泰博、小坂和也、古和聡、小山幹雄、丸山夏樹、松井浩明、光岡政和、三村重人、宮崎雅史、森谷行利、守田敏英、中村淳一、中村善一、那須保友、岡本宮松、岡村和則、大角雄三、大田淳一、大手悟郎、大塚康吉、新農泰治郎、芝田堅志、末光 茂、高原弘海、内山満義、吉田啓一

岡山岡南RC

藤野 優、入江祥子、井上 元、廻 成幸、三宅雅宣、守時 泉、中村有作、小倉俊彦、佐野 実、鷹取宏尚、豊田栄治、山本直樹、山下孝暁

クラブ年次基金

鳥 取 西RC 476.41ドル (新会員寄付)
平 田 RC 205.00ドル (その他)
児 島 東RC 13.00ドル (1ドル寄付)
岡山岡南RC 27.00ドル (1ドル寄付)

法人特別寄付

岡山北西RC 株式会社 ニシオカ

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



海田 孝雄
出雲 RC



杉浦 弘明
出雲 RC



松崎 太志
出雲 RC



佐藤 秀俊
出雲 RC



原田 明成
出雲南 RC



勝部 徑司
出雲南 RC



須山 泰則
出雲南 RC



右田 明
益田 RC



田原 茂穂
新見 RC



生島 裕道
高梁 RC



加藤 敏行
高梁 RC



江原 芳男
岡山中央 RC



岩城 孝男
岡山中央 RC



有元 稔
岡山南 RC



野島 豊
岡山南 RC



藤田 尚徳
玉野 RC



濱田 誠二
岡山岡南 RC



磯邊 崇
岡山岡南 RC



中村 有作
岡山岡南 RC

クラブ特別寄付

出 雲 南RC・・・・・・35,500円(米山ランチ)
笠 岡 RC・・・・・・25,344円(米山ランチ)

クラブ普通寄付

智頭 RC 12,000円/倉吉 RC 135,000円/鳥取北 RC 112,500円/松江東 RC 122,500円/平田RC 102,500円/益田 RC 95,000円/益田西 RC 120,000円/総社吉備路 RC 70,000円/津山 RC 195,000円/岡山後楽園 RC 122,500円/岡山中央 RC 140,000円

個人特別寄付

岡山中央RC

赤松明子、明石拓爾、荒木雷太、藤原征治、藤原泰樹、石津日出雄、勝本光平、河田隆介、河田佳子、木口盛雄、小林 豊、三澤社一郎、森川敦詞、守谷欣明、中田昌子、中野和之、小田 慈、尾坂明義、太田正和、橘 信吾、高島信一、田中弘之、谷口晋一、友宗法道、山下龍子、吉田 守

岡山岡南RC

藤野 優、猪木健二、井上 元、入江祥子、樹谷公彦、廻 成幸、三宅雅宣、守時 泉、小倉俊彦、太田哲生、佐野 実、鷹取宏尚、豊田栄治、山本直樹、山下孝暁

月信9月号(Vol.3)の訂正とお詫び 以下の誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

●P6(地区だより ロータリー財団への寄付)

土井豆 勝磨(出雲南RC) 貝原 明宏(岡山東RC)

出席報告 (2019年8月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			7月1日	8月末日	内女性 会員	増減
第1グループ	智 頭	77.78	3	6	6	0
	倉 吉	77.78	3	54	54	2
	倉吉中央	70.00	3	24	23	3 ▲ 1
	倉吉東	72.13	4	48	48	3
	鳥 取	82.92	4	60	64	4
	鳥取中央	85.59	3	38	38	2
	鳥取北	80.49	3	45	46	5
	鳥取西	83.19	4	58	59	1
小計(8)		79.65	—	333	338	19
第2グループ	境 港	74.32	4	41	41	1
	米 子	60.54	3	76	76	4
	米子中央	71.30	3	33	41	2
	米子東	63.58	3	109	110	10
	米子南	73.37	3	68	65	4 ▲ 3
	小計(5)	65.96	—	327	333	21
第3グループ	松 江	75.11	4	65	67	2
	松江東	75.38	4	49	51	3
	松江南	79.38	3	66	68	5
	松江しんじ湖	70.07	3	51	51	10
	隠岐西郷	72.00	3	24	25	2
	小計(5)	75.06	—	255	262	22
第4グループ	平 田	80.69	4	41	42	2
	出 雲	72.67	3	55	53	2 ▲ 2
	出雲中央	66.67	3	46	46	4
	出雲南	77.09	4	70	71	6
	大 社	71.34	3	53	57	5
小計(5)		74.25	—	265	269	19
第5グループ	江 津	69.31	3	34	36	2
	浜 田	66.46	3	54	54	2
	益 田	73.68	4	19	19	3
	益田西	69.44	3	24	24	1
	大 田	64.15	4	27	27	3
小計(5)		68.02	—	158	160	11
第6グループ	井 原	87.61	3	40	41	2
	笠 岡	90.98	3	48	48	2
	笠岡東	80.92	4	38	38	0
	新 見	79.76	4	22	22	2
	総 社	74.12	4	23	23	6
	総社吉備路	80.72	3	28	28	1
	高 梁	84.35	3	39	39	0
	玉 島	86.25	3	29	30	3
小計(8)		83.55	—	267	269	16

クラブ名	ホームクラブ 出席率(%)	例会 数	会員数			
			7月1日	8月末日	内女性 会員	増減
第7グループ	児 島	66.67	3	22	23	1
	児島東	92.31	2	13	13	0
	倉 敷	84.05	4	81	86	1
	倉敷中央	69.05	3	18	18	8
	倉敷東	94.64	3	41	43	4
	倉敷南	55.62	3	67	69	3
	倉敷水島	89.39	3	23	25	0
	倉敷瀬戸内	83.72	3	41	43	0
小計(8)		78.85	—	306	320	17
第8グループ	真 庭	72.92	3	34	34	0
	美 作	93.75	3	26	27	1
	津 山	61.00	4	78	89	4
	津山中央	70.59	4	17	17	2
	津山西	78.00	3	36	36	6
小計(5)		69.93	—	191	203	13
第9グループ	赤 磐	61.11	2	8	10	0
	備 前	70.80	3	44	44	5
	岡 山	69.66	3	113	118	0
	岡山東	87.69	4	102	102	1
	岡山北西	77.78	3	51	51	5
	岡山後楽園	69.39	4	49	50	0
小計(6)		76.53	—	367	375	11
第10グループ	岡山旭川	66.67	3	31	32	3
	岡山中央	59.46	4	26	28	4
	岡山北	68.63	3	51	51	1
	岡山南	72.18	3	169	169	19
	玉 野	73.56	3	29	29	0
小計(5)		69.63	—	306	309	27
第11グループ	岡山備南	88.75	3	30	30	2
	岡 山 城	78.95	3	21	21	0
	岡山岡南	60.27	3	26	26	2
	岡山丸の内	65.96	3	46	48	3
	岡 山 西	75.00	3	75	77	6
	岡山西南	77.66	4	49	50	4
小計(6)		74.31	—	247	252	17

地区クラブ内の状況

クラブ数	66 RC
2019年7月1日現在会員数	3,022名
2019年8月末日会員数	3,090名
内 女性会員数	194名
純増	68名
2019年8月出席率(ホームクラブ)	74.69%



国際ロータリー第2690地区

古瀬 俱之 地区ガバナー事務所

〒693-0004 島根県出雲市渡橋町826

TEL (0853) 77-5599 FAX (0853) 77-5534

E-mail: f uruse.g-2690@icv.ne.jp